



裕也…
イッてっ♡

うんっ♡

もう…
いくよ…っ

美夏っ…!

パンッ

パンッ

パンッ

パンッ

カッ
カッ





はあ…
はあ…

ねえ…裕也、
なにかあった？

えっ…別に
いつも通り
だけど…

…嘘つき。

そうやって
視線逸らすときは
何か隠してる時だもん。

ドォォ



だから…
別に何も…っ

もしかして…
私とのSEX、
気持ち良くない…？

ちがつ！

どぉー

やっぱり
そうなんだ…。
なんかここ最近の
SEX、

気持ちが入
ってない感じ
がしたんだよね…。



...っ。
ごめん...

いいって。
でも...どうして?

私のこと、飽きた?
SEXしたくない?

そうじゃ
ないっ!

どぉー

ただ...
その...っ。

なによっ、男なら
バシッと言いなさいよっ

すば

すば

すば





え〜...
普通にやだっ。

頼む!

言ってる
意味がよく...

一回だけで
いいからっ!

めっちゃ
本気じゃんっ。

私のこと...
嫌いになった?



違う！

美夏のこととは
変わらず好きだっ！

だからこそ…
美夏じゃないと
ダメなんだ…っ。

それっばい
こと言うけど、

変なAVの
見過ぎでしょ？

ち、ちが…っ。



はぐ...
分かったよ。

一回だけ
だからねっ。

おお!

美夏様、
有難うございます。

調子いいこと
言っちゃっで...w

でも...大丈夫?

え...っ?



裕也の為に
言いつつ...

別の人に浮気
しちゃうかも？

そ、そうならない
人を手配するしっ

なにそれw

まあ...
大丈夫だよ。

わたし、それぐらい
裕也に惚れてるからw

美夏あ...



彼女の同意を得られた俺は、
早速寝取ってくれる人を探した。

なんとなく若いイケメンは避けて
おじさんで探すと、すぐに興味を
持ってくれた人と出会うことができた。



それじゃあ
彼氏くん…。

本当にいいんだね？

はい、
お願いします…。

ははっ、
その年でいい
趣味してるね。

美夏ちゃん、きつと
キミじゃ物足りなく
なっちゃうよ？

そんな
こと…っ







ちよつと
強くするよ。

ひゃうッ♡

おっイイ声出たっ。
これ気持ちいいんだ？

ほら、揉まれながら
乳首ぐりぐりされるの
気持ちいいでしょ？

あッ…んッ
はうん…♡♡



いい反応だねえ。

こうやって乳首
だけを一晚中弄って
あげたいなあ。

んんっ♡
そんなの…
無理だから…っ

乳首ばっか
こねくり回されて…

やだ…わたし、
気持ち良くなっ
てきてる…っ。



それは残念だつ。

それじゃあ次は
こつちを味見させて
もらうよつ。

いやああつ！
そこは…っ♡

ん
らっ♡

うわあ。
すでに大洪水だ笑

ほら？聞こえる？
まんこ濡れてるね？

そんなこと…
言わないで…っ



いいねえ。若くて
綺麗なまんこ。

指で触っても
弾力が違う。ほら、
顔上げて？

ちゃんと彼氏さんに
見てもらわないと。

初めて会ったおじさんに、
イカされちゃうとこ。

やつ、だめえええ！
それ以上は…♡

ん
っ

ほ

ん
っ

ん
っ

ん
っ

ん
っ

ん
っ

ん
っ

ん
っ



ちゃんと声も
聞いてもらおうねっ

い...ヤッ...
はずおしっ...いっ

何今更ぶってんだ!
このくそビッチが!

あっ♡あっ♡
そんなしたらっ♡

ほらっ!イケっ!
彼氏の前で...イケっ!

あッ♡
裕也っ裕也あ♡

ごめっ、あっ、
気持ちよくなっ
てごめ...んっ♡





い...い...ひ...
裕世の目の前で...

美夏...っ。

美夏ちゃん、
いいイキっぷりだねえ。
ほら...彼氏さんの見てみ?

裕世...っ♡
あ...めっちゃ
勃ってるじゃん...♡

えっ...
あ、ごめん...



それが目的じゃん♥
謝る必要ないし...

裕也の為に...
なんだって...
するよ♥

美夏っ...!

いいねえ。
青春だねえ。

それじゃあ
おじさんも、もっと
頑張らないとなっ。



きやつ！

ドサッ

ビュッ

ビュッ

よっこらっせと。

一回しゃぶらせようと思っただけど、君たち見てたら我慢できねえわ。

いきなり
こんな格好…っ

ハッ

ハッ



美夏っ…!

だ、大丈夫よっ。

私、裕也のこと
大好きだからっ♡

だから…
ちゃんと
聞いててね?

こそこそ話してる
とこ悪いけど…
それじゃいくぞっ!

頑張れっ!
頑張れわたしっ!

んっ
んっ









なんた？
首絞めSEX大好物か？
締めりが良くなったぞ？

ごりえ...
いま...がっ

くる...じっ

これ...頭がくらくら
して...飛ぶ...っ♡

んま

んま

ガッ

んま

ばちゃん

ちゃん

ばちゃん

んま

んま



すごっ♡
しゅっ...♡

おっちゃん...
おいおい、アへるの
早すぎだぞ？

だっづっ...
だっづごんなの
ムリィ♡

メチャクチャに
ガン突まされへっ♡

おまんこ
馬鹿になりゅ♡

水

くっ

おっ

ぽ

ん

ん



そりや良かった。
とりあえず
1発出すからっ。

ばって♡
もやんと外に…っ

えっ?
何だって?
ほら、いくぞっ!

いまだそれたりや…
いぐ♡いぐ♡いぐ♡

ばっんっ

ばっんっ

ばっんっ

んん

んん

んん

んん

んん

んん







へっ...?精子って...
な、なんで!ゴムは...

裕也あ...っ

俺、生じゃねえと
ヤツた気に
ならねえんだよ。

はあ

どろっどろの
おじさんセーシ...

こんなの出されたら
女の子はみんな
言いなりに...ッピッ

よし、それじゃあ
次はこっちだな...

P





かあうっ！
こっちの締めりは
また違っていいなっ！

はあ

くろし…っ

おちが…
まく…が…っ

大丈夫大丈夫っ。

美夏ちゃん、センス
あるからすぐ良くなるよ

















さてと...
美夏ちゃん。

今どういう格好しているか
彼氏に分かるように
説明してくれるかい？

くぽっ♡

目隠しと...手錠を
されて...ます。

それで？

全裸でお尻を
突き出しています...

これから
なにされると思う？

き、きつと...
えっちな
お仕置きを...♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



せいかいゝ笑

そんな美夏ちゃんには
ご褒美を上げないとね。

あっ♡

まよっ♡
まよっ♡

ほら、報告して。
今何されてる？

ま、まんにこに…
パイプ入れられて…

だめ…奥まで届いて…
んんんんっ♡♡♡

ズズズズ…♡

ずわん♡
ずわん♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡

んあ♡



それじゃあ
スイッチオンっ

ひいん!
ひッ…ひいいい♡

どう、気持ちいい?

ま、まもち
いい…ねす♡

んゝ、さすがに
パイプだけじゃ
余裕ある感じだね。

あ!!

んあ!!

ん

ん

ん

ん

ん

ん



おほ

は

んか

ん

ん

それじゃ
もう1本追加す。

ほら、
報告報告。

おまッ
おまッ
♡♡

ズ
ズズズ...

ま、まんこに...
パイプ入れられた
まま...

今度はお尻に何かが
入ってきてま...♡

アナル
ビーズね笑

は

んあ

ん

ん



それじゃ一緒に動かします。

りゅうれう

くろし

あんなに

気持ち良くないの？
やめちゃう？

ムギ









美夏ちゃん、
気持ちよかった？

おま
おま
♡♡

しよこま
しゅごま
♡♡

もっ
もっ
♡♡

素直な子は
大好きだよ。
それじゃあ…
もっ
もっ
♡♡

く
さい
♡

ん
ん
♡

ん
ん
♡

ん
ん
♡



その後、どれぐらいの時間が経過しただろう。

彼女とおじさんとのSEXは永遠に感じるほど、続いていた。

俺は自分のチンコを弄る許しは得たものの、目隠しをしたまま。



つまり、自分の彼女が今、どういう状態なのか直接見ることができない。

ただ、この狭い部屋の中で確かに感じる彼女の喘ぎ声。

これだけで、俺は彼女の表情を想像し、それだけで、ただただ手の動きは止まらなかった。



そして遂に、終わりの時が迫っていた。



ははっ笑
かわいそうだけど
コレ覚えちゃったら
戻れないからね？

どうだ？
彼氏のちんこじゃ
こんな奥まで
届かないだろう？

とどおない
れすう♡

おじさん
チンポすま♡

やだ♡
やだ♡
んあ！！
はあ

はあ

んあ！！

んあ！！

んあ！！

んあ！！

んあ！！



はらっちゃんと
彼氏に謝って。

まッ♡
まッ♡
まッ♡

おおっ！子宮が
吸いついてきてる

そんなにおじさん
チンポ気に入ってたんだ。

チンポ
しゅま♡♡

彼氏がいるのに
最低なまんこだな

本当だったら種付け
成敗したかったよ。

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

はあ

はあ





じゃあ、最後の
おじさん精子、
子宮の奥に注ぐよ。

んああああ
くだしやい♡♡

しえーし♡
まてええっ♡

裕也あ♡♡
ごめっ♡♡
ごめんわ♡♡

ごめんなさい♡
でも、すごいのも♡

美夏ちゃん、
ベタ褒めじゃん笑

はあ

あ♡♡♡

んんん

んんん

んんん

んんん







だい
すき
でしゅ
♡

おじさん
チンポが...

パンッ

パンッ

めめ

めめ
めめ
めめ
めめ

パン

裕也より
大きくて♡

パンッ

パンッ

おなかの奥まで
ぐちゃぐちゃに
してくれ♡

めめ♡

めめ♡

はぁ

はぁ







最後は…
裕也の目隠しを
外して…っ。

お、おじ
さん♡

最後にもう
1回だけして
くれないかな…？

はん♡

はあ

はー♡

はあ

はー♡

はー♡

はー♡



裕也 ♡
こっち見てて ♡

いまぢ、おじさんと
最後の種付けSEX
するぢ... ♡

はー ♡
はーん ♡

美夏...っ

美夏ちゃん、
覚悟してねっ。

なにを言っても
最後まで止めないから。

おわがい...
しましゅっ ♡





裕也 ♡
気持ちいいっ？

わたしを見て
気持ち良くな
ってるっ？ ♡

わたしは
♡♡♡

ほー♡

んあッ

ほー♡

もう、
戻れない ♡

おじさんチンポに
堕とされちゃう ♡

いま、最高に
気持ちいいよお ♡

んがッ ♡

パンッ

パンッ

んがッ

んがッ



墮とされる
じゃなくて…

「もう墮とされた」
だろ？

んおおお
おおお
おおお
おッほ
♡

まんこの
まくう♡

おじさん
チンポ専用
ですう♡

ばちんっ

ばちんっ

ばちんっ

ばちんっ



よく
言えましたっ。

それじゃ、
俺専用のメスまんこに
種付けするから。

ありがとうございます
ゆううつ♡

ちゃんと
彼氏に報告しろ？

裕也
すき♡♡

だか
見えてっ♡

ちゃんっ

ちゃんっ

ちゃんっ



今から彼氏の
見てる前で♡

わたしを堕とした
凶悪オチンポにい...

種付け
されます♡

もう、
だめ♡

種付けされて
アへ顔です♡

わたしの姿、
ちゃんと見て♡

イクッ♡
イクッ♡
イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡



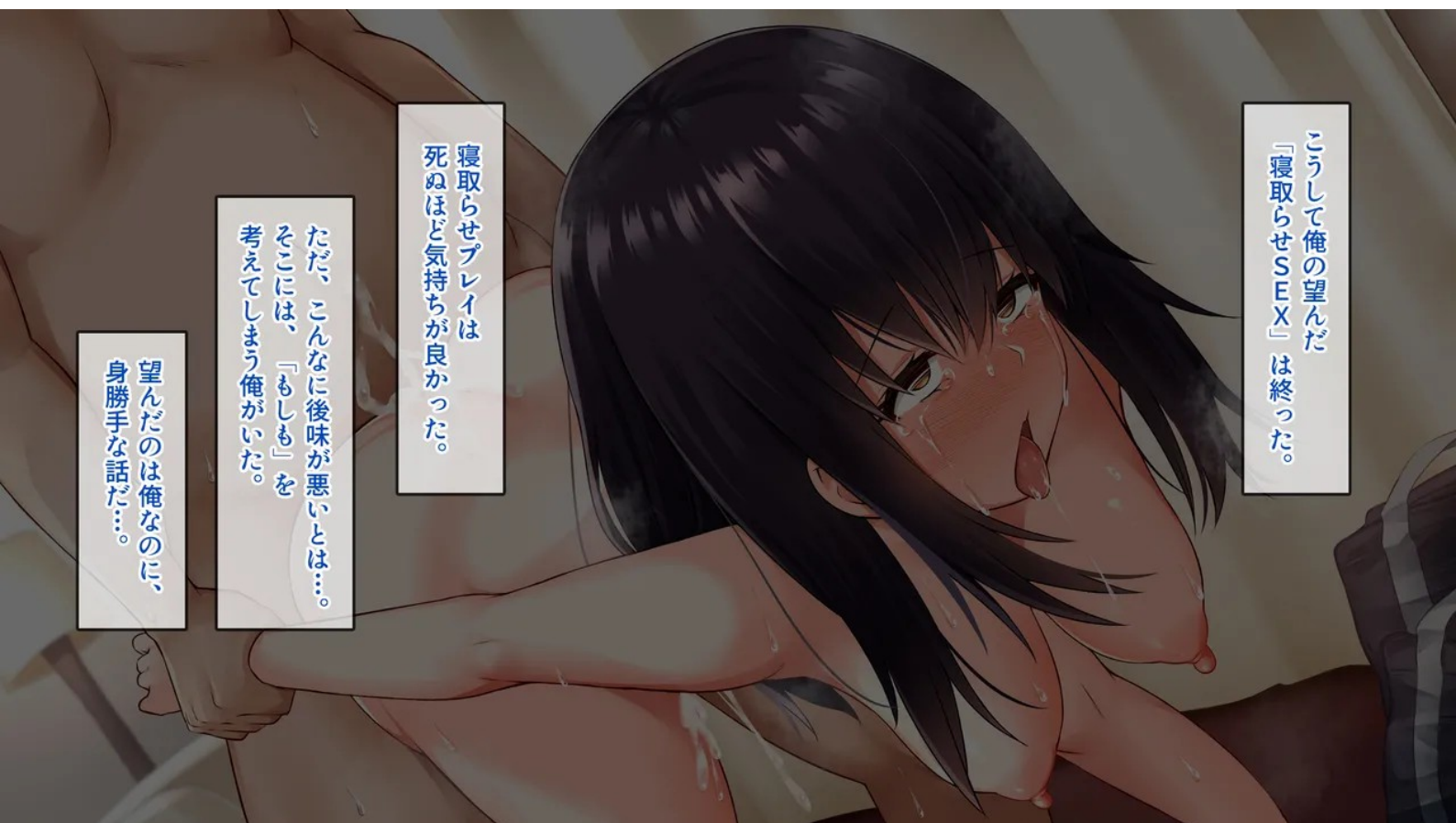


こうして俺の望んだ
「寝取らせSEX」は終わった。

寝取らせプレイは
死ぬほど気持ち良かった。

ただ、こんなに後味が悪いとは…。
そこには、「もしも」を
考えてしまう俺がいた。

望んだのは俺なのに、
身勝手な話だ…。





いやあ、
すごかったね。

まさかあんなに
なるまで攻められるとは
思わなかったな…w

帰りの道中、何事も
無かったように振る舞う彼女を
見て、俺は素直に謝った。

美夏っ…ごめんっ！

えっ？



その…俺の
勝手なわがままに

付き合わせた結果、
こんなことに…。

こんなこと？
わたし、すごい
気持ち良かったよ？

いや…その…
それがだな…

それが？

それが不安で
しょうがないんだ…。



あははは
ははははっw

な、なんだよ…。

だって自分で
やりたいって
言っておきながら

そんな泣きそうな
顔してるんだもんw

ねえどんな
気持ち? ねえねえ?

茶化すなよっ!
俺は本当に…っ



でも、
興奮したのも
本当でしょ？

それは…

私は今までで
1番興奮したよ。

知らないおじさんに
めちゃくちゃにされて…

そんな…

しょうがないよ。
それが事実だし、
もう記憶も消せない。

だからさ…。



わたしのこと、
今でもちゃんと「好き」
って…言える？

言えるっ。

回答はやっw

じゃあさ…。

また、おじさんと
SEXしたいって

言ったら…どう？

イヤだっ。

即答w



ごめんごめんW
冗談だってW

お前なあ…

ごめんね…
大丈夫。

美夏ちゃんは、
どこにも行かないから。

大丈夫、
安心してW

美夏…。



俺はなにがあっても、
お前のことが1番だから。

ふふ、
ありがと♡

美夏が言ったように、
起きたことは事実だし
消すこともできない。

そしてこうなって
しまったのは俺が原因だ。

例えここからお互いの
関係に綻びができたとしても、
絶対俺だけは、彼女の事を
信じ続ける。

それが、俺に
課せられた贖罪なのだから。